11 月

私だけの祈りを見つけましょう

24 (月)

みことば 私の福音とイエス・キリストの管教によって、すなわち、世々にローマ 16:25~27 わたって長い間隠されていたが、今や競わされて、永遠の神の命令に 縦い、 預言者たちの書によって、信仰の 従 順 に 導 くためにあらゆる 国の人々に知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを墜く立たせることができる方(25~26)

<mark>神様に用いられた人々は、すべてみな「私だけの祈り」を持っていました。ダビデは筆を飼っているときに、詩を作りながら祈りました。ヨセフは、いそがしく仕事をしながら祈りました。パウロは、弟子たちに手紙(聖書)を書いて祈りました。ルターは、神様を賛美しながら祈りました。彼らのように、レムナントのみなさんも、私だけの祈りを味わいましょう。</mark>

1.私だけの裄りは何であるのか発見しましょう

神様がくださった祝福を味わうのが祈りです。また、祈りは神様が本当に望んでおられる願いがなされるようにささげることです。多くの問題を私の力と私の能力で解決することはできません。それで神様の子どもの事分と権威を私の規場にふさわしく使わなければなりません。これがまさに「私だけの祈り」です。

2.私だけの祈りを味わう時、もっとも幸せです

初代教会は、イエス様がキリストだという契約をにぎりました。それで、どんなことも問題にならなかったのです。神の国が臨む伝道運動を体験したので、ゆれることもありませんでした。レムナントのみんさんの未来に大きな障害物があるのでしょうか。初代教会のように聖霊に満たされる私だけの祈りを体験すれば、もっとも大きい幸せを味わえます。

3.私だけの裄りを始めれば奇跡が起こります

神様は子どもの祈りを聞いてくださいます。神様はレムナントの祈りに特別な奇跡を起こしてくださいます。今から私だけの祈りを始めてみてください。レムナントの勉強と伝道現場、そして、すべての人生におどろくことが行われるでしょう。神様が私とともにおられる祝福を祈りでずっと味わってみてください。そうすれば、他の友だちに首慢するほどの大きい答えが親れます。

神 様 に おいのり します

私を越えた神様の計画を発見させてください。私の力にたよるのではなく、神様の力を信頼させてください。人々の芳法について行くのではなく、神様が見せてくださった私だけの祈りを味わうように 「働いてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

エジプトを越えて世界福音化の祝福を味わいましょう

神様はレムナントヨセフを 導かれました。エジプトに奴隷として売られて行ったのですが、エジプトを越えて、世界福音化の答えを味わうように 導かれたのです。神様は私の人生をどのように 導いておられるのか、心に絵をかいてみましょう。 でしまってみましょう。 それか、 歌を作ってみましょう。



この世の人の前で神様に 榮兇を帰している素柔の私の姿

nel ess (私の歴史記録

11月 私だけの現場を見つけましょう

25 (火)

みことば この預言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれて いることを心に留める人々は幸いである。時が近づいている

黙示 1:1~3 からである。(3)

「いったいどんな意味なのかわからない」預言者イザヤの文章を読んでいたエチオピアの高管は、とてもじれったく思いました。ちょうどそのとき、聖霊に導かれたピリポが高管にやってきて、文章を説削してあげて福音を伝えました。レムナントのみなさんも、ピリポのように、聖霊に導かれる「私だけの現場」を発見してみましょう。そうすれば、エチオピアの高管のような備えられたたましいを生かすことができるでしょう。

1. 聖霊になかれる現場で体験しなければならないこと

レムナントが聖霊に導かれれば、神様がもっともよろこばれる現場に行くようになります。その現場に行けば、教わえることに楚められたたましいと会うようになります。そして、現場に働いていたサタンの権威がくだかれて、悪魔に押さえられた人々が生き返ります。

2. 聖霊に掌かれる現場で見なければならないこと

私の現場にぴったり合う伝道と祈りの芳法を見つけて味わえば、現場で何が見えるようになるのでしょうか。最初に、神様が私とともにおられて、最後まで衝かれるという事実が見えるようになります。 二つ目、祈るレムナントに神様が天の軍勢とみ使いを送ってくださって衝かれるのを見ることができます。 三つ目、イエス・ キリストの御名の力でサタンの勢力がくだかれるのを見ます。

3.私だけの現場を見つければおどろくことが見えるようになります

私だけの現場をみつけたローマ 16章の弟子たちは、世界福音化という祈りの課題と伝道の芳尚が通じました。神様が葯策された奥義と契葯的なみことばが通じました。どんな場合にも、神様だけに榮兇を帰すというもっとも董曼なレムナントの使命が通じる祝福を味わいましょう。

神様がいちばん願っておられる現場を悟ることができるように祝福してください。聖霊に導かれて、 私の現場である()に福音をつたえる伝道者と福音を受ける弟子と出会うこと ができるように、衝いてください。私が行く現場ごとに、答えられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

私だけの伝道方法

こんにちは。みなさんに「私だけの伝覚芳瑟」をお話ししようと、このように 文章を書きます。

2007年、30人ほどの子どもたちといっしょに、グローリーレムナントスクールをはじめました。私はこの時、コヤン市に向かった神様の計画を見つけたように思います。子どもたちと毎日タラッパンをしながら、福音の根をどんどんおろしただけなのに、コヤン市のあちこちによいうわさが立って、未信者の子どもたちが私たちのグローリーレムナントスクールに入ってくるようになったのです。

> と話しました。そして、私はその時、受け入れる 祈りを私のあとについてしたのでした。

そう、この前には、こういう事がありました。 7才の子どもたちといっしょに見学に行ったのですが、私たちの子どもたちが他の幼稚園の子どもたちにイエス様を伝えたのです。どれくらい懲謝でうれしかったでしょうか。本当にうれしくて、 発作を起こしそうなほどでした。

ここまでが、私の話です。みなさんもみなさんの 状況にぴったり合うみなさんだけの伝道芳法を 見つけてみてください。最後に、この現場で献身 することができるようにされた神様に榮兇を おささげしながら、文を終えます。

文・ムン・コウン、イルサンヨンガン教会付属グローリーレムナントスクール教師

	れきし きろく
A.	私の歴史記録
	-

11月

うんどうたいしつ せいかつしゅうかん 運動体質と牛活習慣

26(水)

みことば 身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、 I ペテロ5:7~8 ほえたけるししのように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、 歩き回っています。(8)

1.よゆうがある生活習慣をそろえましょう

規則的に運動をすれば、心までそう快になります。しかし、まず先にそろえなければならない生活習慣があります。 時間のよゆうを持って準備してこそ失敗しません。 そうじをして、整理、整韻だけでもよくしても、生活登削によゆうができます。 他の友だちのことを考えてあげる考えのよゆうまでそろえられます。

2. 運輸より生活の規律をそろえましょう

舞門、運動をしようと決心するのですが、なぜ 当首坊主で終わるのでしょうか。生活を節度あるように変えるのが解決策です。祈りや勉強をする時も、流れにしたがってリズムに乗れば、効果的にできます。同じように生活の規律がどうなのかにしたがって、なまけるのか、勤勉なのかが決定されます。それで、いそがしくて多くの事をする中でも、私を育てる生活の規律をそろえなければなりません。

3. 建勤体質で霊蕑な健康を守りましょう

運動は肉体の健康と関係が深いのです。それで運動を規則的にすればよいのです。さらに置要なのは、運動が霊的な部分とも大きな関係があるということです。 朝早く起きて、運動しながら祈ってみましょう。 からだと心の健康を守る子どもが、まことのレムナントのモデルだということです。

堂首坊主:浜心したことが三日続かなくて、やめてしまうこと。

神 様 に おいのり します

神様に感謝します。私の悪い習慣である()を直して、生活の規律をそろえることができるように毎日、()の運動で、肉体と心の健康を守ることができるように祝福してください。いつも健康にしてくださるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。

すきな絵をかきましょう



* 原稿はクロスワードパズルでしたが、日本語では難しいので訳しませんでした。

れきし きろく



11月 3つのことが**通じるべきです**

27(木)

みことば さて、ダマスコにアナニヤという弟子がいた。主が彼に幻の中で、 使徒 9:1 ~ 15 「アナニヤよ。」と言われたので、「主よ。ここにおります。」と 答えた。(8)

子どもと親との年の差は、とても大きいです。そして、育つ背景もそれぞれちがいます。趣味や好きなこともちがいます。しかし、福音にあって通じなければならない3つのことがあります。そして、世界福音化のためにレムナントと重職者がおたがいに通じなければならない3つのことがあります。

1. 禐鐘が通じなければなりません

伝道を正しく理解できなければ、神様と方向が合いません。伝道を体験できいまま、ほかの事を熱心にしても、とんでもないむだなことになってしまいます。レムナントと量、触者が、現場で伝道が通じれば、まことの祝福を味わうことができます。神様は伝道に方向を合わせる者に、教いが定められている人に会えるように聖霊で導いてくださいます。

2.まことの管教が通じなければなりません

聖書を見れば、イスラエルの罠が置教を悟った時は、他の罠族まで憲みを受けました。しかし、置教に対する約束をのがした時は、他の国に奴隷で、捕虜で引きずられて行きました。祝福を受けて従服するか、そうでなければ戦争と災いで滅亡するかということが、置教を正しく理解するか、そうでなければよくわからないかによって決定されるのです。それで、レムナントと重職者がまことの置教を悟ってこそ、国と民族が生きかえります。

現場はシャーマニズムや迷信のような学教文化でぎっしりうまっています。それで、地域を福音で生かす伝道する地教会が必要です。暗やみの勢力は影響力がある世の中の文化を利用して子ども堕落させて精神的に病気になるようにさせます。それで、はやくレムナントが集まって、いっしょに祈って、インターンシップを体験して、福音文化を作るレムナント共同体訓練場(RUTC)が必要なのです。

神 様 に おいのい します

神様、伝道と萱教と文化がどれほど重要なのか、重職者とレムナントの霊的な目を開けてください。 現場で神様の恵みと神様の働きを見ることができるように祝福してください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。 アーメン

<mark>私だけの<mark>伝</mark>道トラクトを作って福音を<u>従</u>えましょう</mark>





Friend



神様が一番確実に答えてくださる野法は、なんでしょうか。ふだんに福音の目を大きく開けて、 みことばをにぎって、祈ることです。しかし、私たちはすぐに約束を慧れてしまいって、ゆれる 時が多いのです。それで、問題や危機が来たときごとに思いだすべきことがあります。

1.福音の中に筦拳に入りましょう

だれでも、少し病気になったり、まずしくなったりします。しかし、家家代学が病気で苦しんだり、まずしさからぬけ出すことがでなくて、ぬすみまでしなければならないならば、これは明らかにサタンの働きです。この問題を本当に解決しようとするなら、福音の中へ完全に入らなければなりません。イエス様がキリストとして来られて、私と私たちの家庭と現場のすべての問題を解決してくださらなければなりません。

2. 神様がくくださったみことばをにぎりましょう

神様は、まず先にみことばをくださり、そのみことばを正確に成就させてくださいます。それで、いつも契約のみことばをにぎる時ごとに、すべてのことに勝利しました。死の危機の中にあった初代教会も、約策されたみことばをにぎって祈った時、聖霊様が満たすように臨まれました。初代教会のように、レムナントもみことばをにぎって伝道すれば、世界福音化できる大きい力を受けます。

3. 危機を祝福を受ける機会に変えましょう

うそが本当の真理に勝つことはできません。神様がくださった難じの本当の真理は、イエスがキリストだという福音です。どんな問題とサタンの誘惑にも、福音の真理をにぎっていればかならず勝利します。福音の目で見れば、ひどい危機の中でも大きい祝福を受ける機会が見えます。福音を持ったレムナントは、危機を祝福の機会に委える筆失弦です。

一神 か に おいのり します

福音だけにぎれば勝利するというみことばを信じます。力のみことばをにぎる時に、サタンはぶるぶるとふるえて逃げて行くという事実を信じます。だれも助けてくれなくても、危機を祝福の機会に変えることができると、心から信じます。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

11月 29 (土)

^{かざわ} 災いをふせぐ傘

ピリピ 2:1~4 荷筆でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、短いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。 自分のことだけではなく、他の人のこともが顧みなさい。(3~4)



「オイ、飲もう! 思いきり飲もうぜ。 今日はおれのおごりだ!」 やみの都市は、長いやみに、小さな光まで その力を失ってしまいました。まぶしく見え るキラキラした都市ですが、絶望の中で、 人生をあきらめた人々は、心がむくまま 検薬を楽しんでいました。

「おじさん! ちょっと野菜を買ってください」 しとしとと雨がふる今日も、ユウウツくんは、 野菜を売っていました。

「また、何だって! あっちに行け!」

お灩によっぱらった人々は、からだを芠えることもできないまま、とてもうるさいという目でユウウツくんのからだを押しのけてしまいました。

はじめて見たおじいさんが、みずぼらしい 古い蘂を渡してくれました。ユウウツくんが ためらいながら、蘂を広げたら、ふしぎなことに、 ユウウツくんの心を覚めるように、明るい光が さしてきました。暗くなってきていた心に、 よろこびがわいて出てきました。

「ウワー、本当にふしぎな蘂だな」

そして、雨を避けるためにユウウツくんの塗の中に飛びこんできた、翼(はね)を笑った鳥は、 傷がよくなりました。



「あのおじいさんはだれなの! うるさく言わずに、あちらに消えろということなの!」 人々はおじいさんがタダ(無料)で渡してくれる蘂を地面に投げてしまいました。 しかし、ユウウツくんだけは、この蘂がやみの都市を明るく変えてくれるとかたく信じました。

ユウウツくんの顔には、気びがいっぱいでした。いつのまにか、やみの都市は、どん どん光の都市に変わっていきました。

レムナントのみなさん。すばらしく包んである宗教では、絶対に人生の検挙問題を解決することはできません。人間におとずれるのろいと災いを解決することはできません。この世ののろいと災いを防ぐ攀は何でしょうか。それが、イエス・キリストの攀なのです。神様は伝道のおろかさを通していのちを生かすことを望んでおられます。私たちがすべてやみの中で苦しんでいる人々に、キリストの攀を伝える伝道者になりましょう。



人を生かすなら、どうすればよいのでしょうか

- 1.
 完ぺきな福音を味わいましょう ピリピ4章 13 節に「私は、私を強くしてくださる方にあって、どんなことでもできる のです」というみことばがあります。世の中、苦しみ、知識、茂坊、簑壌を越える完筌 福音をにぎって味わってみましょう。その中で、跫刻、常蒔、深い祈りで大きい力を 受けなければなりません。
- 2.神様が願われているところにいなければなりません ピリポ、アナニヤ、コルネリオの家、マルコの屋上の間、アンテオケ教会に聖霊が臨ん で祝福された運由は、なんでしょうか。神様がもっとも望んでおられる「人を生かす現場」 だったからです。私の伝道、私の祈り、私の現場について考えるだけでもみわざが起き ます。
- 3.神様の時代的な要請の中に入っていきましょう 神様がこの時代にもっとも望んでおられることは何でしょうか。私がいる現場で福音を 味わいながら祈ることです。